



壁付水栓

取扱施工説明書

施工・使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

このたびは、壁付水栓をお買い求めいただき、
まことにありがとうございました。

使用圧力条件について

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。

安全上のご注意

施工・使用される前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。



注意

取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または、物的損害が発生する危険な状態が生じることが想定されます。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



必ず実行していただく
「強制」を示します。



してはいけない
「禁止」を示します。



気をつけていただきたい
「注意」を示します。

施工上のご注意



必ず実行

- 配管内のゴミや砂などは、完全に洗い流してください。
- 各部の接続を行う際は、パッキンが付いていることやそれらに破損・変形がないか必ずご確認ください。漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生恐れがあります。
- 水勢調節及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ず設置してください。
- 給水・給湯配管および止水栓をキャビネットや流し台の裏側(壁の中)に配管(隠蔽配管)する場合は、必ず点検口を設置し、作業可能なスペースを確保してください。経年変化や劣化による漏水を発見できず、家財などを濡らす財産損害発生恐れがあります。



禁止

- 温泉水・中水・飲用不可な井戸水には使用しないでください。
- 製品にもたれるなどして無理な力を加えたり、大きな衝撃を与えたりしないでください。ケガをしたり、製品の変形や破損により漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生恐れがあります。

使用上のご注意



必ず実行

- ハンドルはゆっくり操作してください。ハンドルを急に閉めると、配管に衝撃が加わり、配管からの漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生恐れがあります。
- 可動部分が固くて動きが悪い場合は、水あか固着や潤滑剤切れです。放置すると故障の原因になりますので修理をご依頼ください。



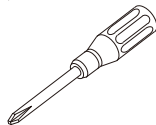
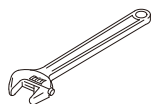
禁止

- 製品にもたれるなどして無理な力を加えたり、大きな衝撃を与えたりしないでください。ケガをしたり、製品の変形や破損により漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生恐れがあります。

施工に必要な工具

- モンキーレンチ

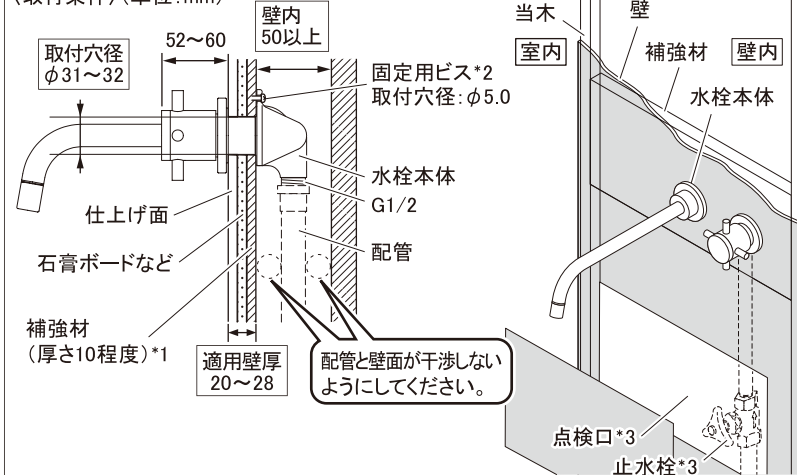
- プラスドライバー



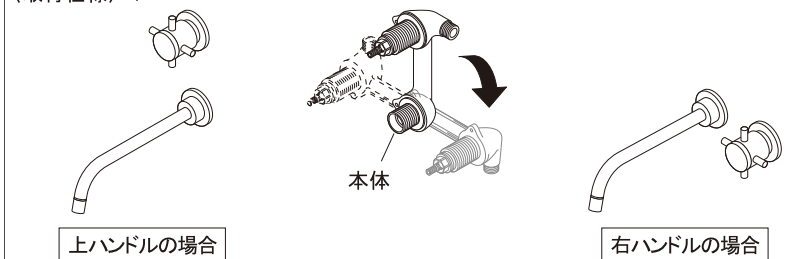
取付けの前に

- *数秒間水を流し、配管内のゴミなどを洗い流してから、止水栓または元栓を閉めて取付作業を行ってください。
- *取付作業を行う前に下記の事項をご確認ください。

〈取付条件〉(単位:mm)



〈取付仕様〉*4

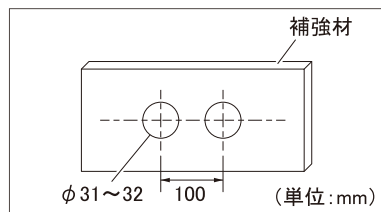


本体の取付方向により、上ハンドル、右ハンドル、左ハンドルで設置可能です。
ご使用都合にあわせて設置・配管してください。吐水口は固定式です。

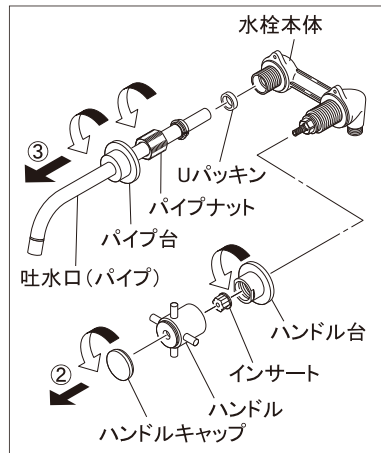
- *1 本製品を取付可能な補強材(厚さ10ミリ程度)を別途ご用意ください。
- *2 本製品を補強材に固定するため、皿タッピングビスφ4.0~4.5ミリ(2本)を補強材の厚みに合わせて別途ご用意ください。
- *3 本製品を取付ける際は、配管に止水栓(バルブ)を設置し、点検口を設けてください。
- *4 「左ハンドル」は給水が上方向からになります。「下ハンドル」は対応していません。

取付方法

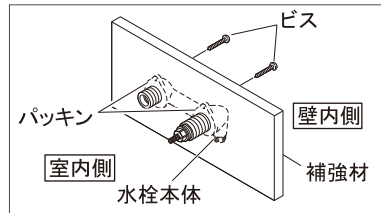
1.補強材に本製品を取付けます。



①補強材に本製品を取付けるための穴をあけます。

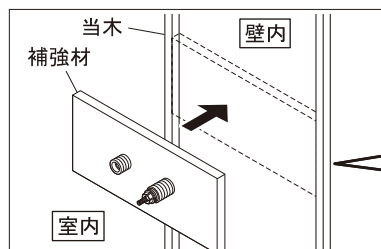


②ハンドルキャップを外し、ハンドル、インサートを
抜き取り、ハンドル台を外します。
③パイプ台、パイプナットを取外し、吐水口(パイプ)、
Uパッキンを抜き取ります。



④水栓本体側にパッキンが付いていることをご確認
のうえ、手順①で穴をあけた補強材に差込み、ビス
で固定します。

2.本製品を取付けた補強材を壁面に取付けます。



水栓本体を取付けた補強材を当木に取付けます。
斜線部分(当木と補強材)の面が平面になるように
固定します。

裏面へ続く➡

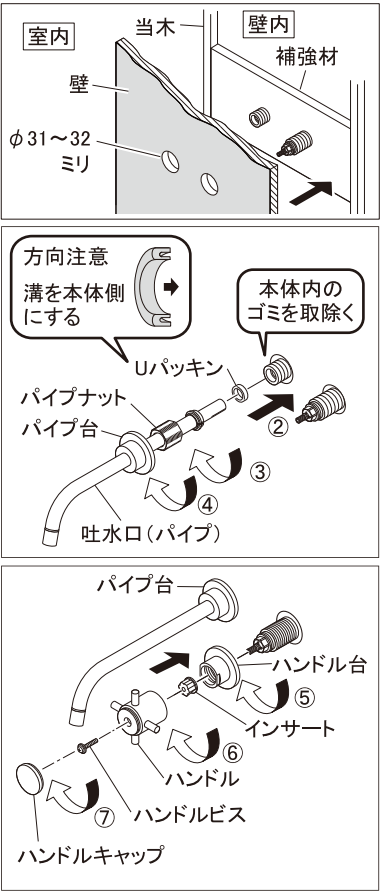
取付方法(つづき)

3.配管を取付け、止水栓と接続します。



- ①配管を取付けます。
*漏水のないように施工してください。
*水栓本体の取付方向に合わせ、配管部材を別途手配してください。
- ②ハンドルを差込み仮組みした状態で、ハンドルを時計まわりにまわして止水位置にします。
- ③止水栓または元栓を開き、水栓本体が止水状態で、壁内の配管の接続部に漏水がないか確認します。

4.壁面の仕上げを行い、ハンドルなどを取付けます。

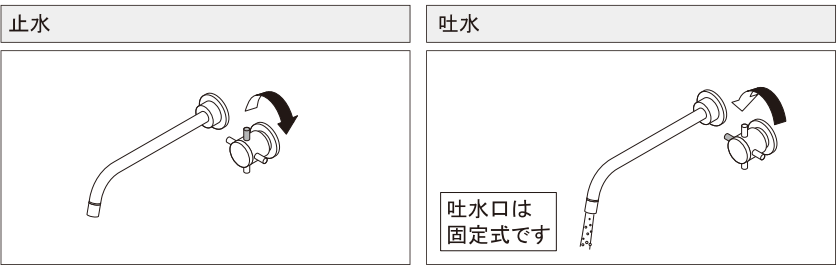


- ①壁面を仕上げます。
- ②水栓本体内のゴミを除去し、左図のようにUパッキンを水栓本体に入れます。
- ③本体側に吐水口(パイプ)を真下にした状態で差込みパイプナットを「レンチ」などでしっかり締付けます。
- *製品構造上、吐水口は若干動きますがパイプナットが締付けられていれば正常です。
- ④パイプ台を締付けます。
- ⑤ハンドル台を「レンチ」などでしっかりと締付けます。
- ⑥インサート、ハンドルを水栓本体に差込み、ハンドルを時計まわりにまわして止水位置にします。
- ⑦同梱のハンドルビスを「プラスドライバー」で締付け、ハンドルキャップを取付けます。

施工後の確認

- ①止水栓または元栓を開き、各部に漏水がないかを確認します。
漏水が発見された場合は、止水栓または元栓を閉め、漏水する箇所を施工し直してください。
- ②ハンドルを開き、吐水状態を確認します。
*適量で吐水するために、止水栓で水量を調整してください。

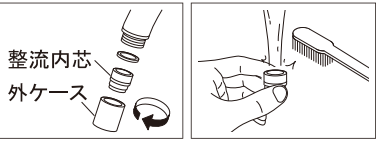
使用方法



ハンドルを時計まわりにまわすと「止水」、反時計まわりにまわすと「吐水」します。

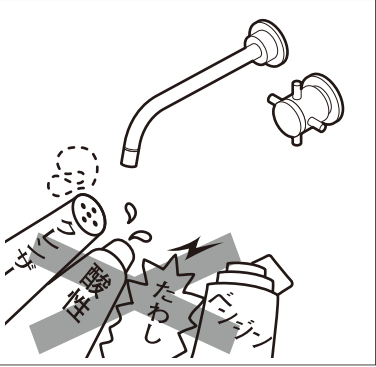
お手入れのしかた

整流内芯のお掃除



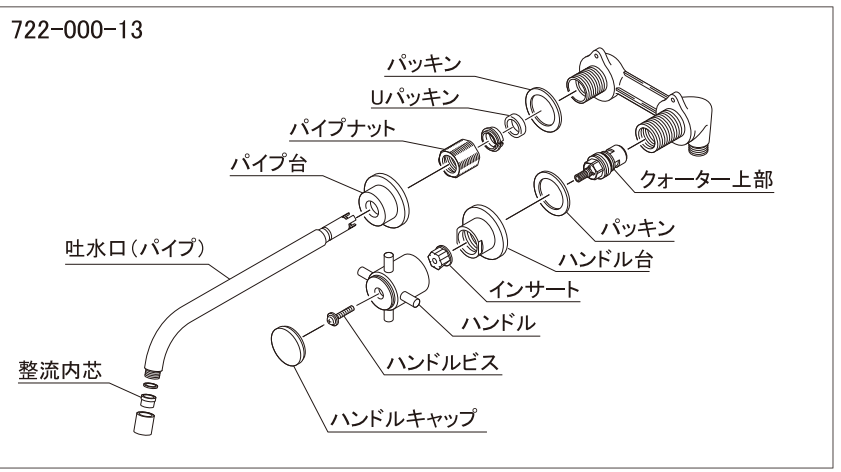
最初ご使用になっていた時より著しく水の出が悪くなった場合は、整流内芯を取外して、ゴミなどの異物をブラシなどで水洗いして取除いてください。

器具のお手入れ



- いつまでも美しくご使用いただくために。
- 水栓器具の金属部
ふだんは乾いたやわらかい布でみがき、ときどきカーワックスなどをしみこませた布でみがいてください。
 - 水栓器具のプラスチック部・塗装面
乾いた布を使ってお手入れしてください。汚れがひどい時は、うすめた食器用中性洗剤を含ませた布で拭き、乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ⚠ 注意
金属たわしやクレンザー・みがき粉など粒子の粗い洗剤・酸性や塩素系の洗剤・ベンジン・油などは、金属表面を傷つけたりプラスチック部・塗装面を傷めますので使用しないでください。

分解図



- * 品番によっては、図と製品の形状が一部異なります。
- * 製品改良のため、部品仕様などを予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。